保護者向け学校通信

創る

給食を前に各班完食
ごちそうさまでした



令和８年
１０月２６日（第２０号）
学校長　村松　章史

みんなで考え、手を取り合って

10.8　学家地連　体験学習部　ほうとうづくり



「みんなで考え、手を取り合って」
この言葉は学校・家庭・地域連携推進協議会（学家地連）が、３４年前に発足した当時から活動の根幹としてきたものです。「市川中の子どもたちを学校・家庭・地域全体で大切に育てていこう」という考えを端的に表現したものとも言えます。
学家地連の体験学習部では、２年生の家庭科授業と連携し、「ほうとうづくり」を実施しています。１０月８日、今年度も地域から１６名の皆さんを講師に迎え、麺を打つところから教えていただき、できあがったほうとうを参加者全員で味わいました。みんなで作りみんなで食べる過程の中で、地域の方とたくさんお話しすることができ、生徒たちも多くの方々に支えられて生活できていることを実感する機会となりました。会が終わるのを名残惜しそうにしている生徒もいました。
家庭科の授業としても、調理実習を通して郷土食の魅力について学んだり、安全や衛生に配慮した作業を意識したりすることができました。
参加した生徒の感想から：初めて粉からほうとうを自分で作りました。地域の方に優しく教えていただいて、しっかりとした麺が出来上がりました。ほうとうを食べながら地域の方といろいろな話が出来たことも楽しかったです。今度、町であったら話しかけたいです。



講師を務めてくださった地域の方、PTA執行部の方、ありがとうございました。
※学家地連の環境整備部では、11月に地域施設への花植活動を行う予定です。